

主日礼拝

2022年02月06日
午前10時30分

前奏 「光の子になるため」
(R.G.T.ヴェルデ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。」

(ヨハネ4:23)

信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、
死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。
アーメン

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 マルコによる福音書

4:10~12、21~34

新約(新共同訳)p67~p68

イエスがひとりになられたとき、十二人と、イエスの周りにいた人たちが、たとえについて尋ねた。そこで、イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密が打ち明けられているが、外の人々には、すべてがたとえで示される。それは、『彼らが見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、理解できず、こうして、立ち帰って赦されることのない』ようになるためである。」

また、イエスは言われた。「ともし火を持って来るのは、升の下や寝台の下に置くためだろうか。燭台の上に置くためではないか。隠れているもので、あらわにならないものはなく、秘められたもので、公にならないものはない。聞く耳のある者は聞きなさい。」

また、彼らに言われた。「何を聞いているかに注意しなさい。あなたがたは自分の量る秤で量り与えられ、更にたくさん与えられる。持っている人は更に与えられ、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。」

また、イエスは言われた。「神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。土はひとりでに実を結ばせるのであり、まず莖、次に穂、そしてその穂には豊かな実ができる。実が熟すと、早速、鎌を入れる。収穫の時が来たからである。」

更に、イエスは言われた。「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」

イエスは、人々の聞く力に應じて、このように多くのたとえで御言葉を語られた。たとえを用いずに語ることはなかったが、御自分の弟子たちにはひそかにすべてを説明された。

賛美 472(1,3,4)「朝ごとに主は」

Er weckt mich alle Morgen
詞：Jochen Klepper, 1903-1942
ER WECKT MICH
曲：Rudolf Zöbely, 1901-1991

① あさご と - に 主 は 目 を - さ ま さ せ、
かみ が こ の の 世 は つ を - ら れ た 日、
③ 「した が え -」と 主 が い わ れ る と き、
④ 主 の み こ - と ば は め ぐ - み に み ち、

わたしの - み み に か た - り か け る。
そりと の き - の よう に か た - は か た る。
しりごみ - せ ず つ に か わ た - し は と け る。
わたし を - つ つ み す く - い と な る。

主のみ こ - と ば で む か え る - あ さ、
かみ が あ - た え た て 水 遠 の こ - と ば、
かせを は - ず し た て 自 由 を あ - た え、
主のみ ひ - か り は く ら い 日 - に も

わたしたと - と も に 主 は - お ら れ き る。
でしとち - の よう に 主 た - し も く。
かえてく - だ さ に る、主 は - わ た し を。
わたし を - か こ み り - か が や く。

- ① 朝ごとに主は 目を覚まさせ、私の耳に 語りかける。主のみ言葉で 迎える朝、私と共に 主はおられる。
- ② 神がこの世を 造られた日、その時のように 神は語る。神が与えた 永遠の言葉、弟子たちのように 私も聞く。
- ③ 「従え」と主が 言われる時、しりごみせずに 私は行く。枷をはずして 自由を与え、変えてくださる、主は私を。
- ④ 主のみ言葉は 恵みに満ち、私を包み 救いとなる。主のみ光は 暗い日にも私を照らし、私を照らす。

説教 「命の灯を燃やそう」

聖餐式 牧師のみ

賛美 509「光の子になるため」

1. ひかり のこに なるた め ついて ゆ き ま す
2. しゆの がやき みるた め すすみ ゆ き ま す
3. しゆの ふ たたび くるひ を まちの ぞ み ま す

このよ を - て らすた め こ られた しゆ イエ ス に
しめさ れ - た こみち を み かみの み も と に
しんこう を - ま もりぬ き み まえに た つ ひ を
(くりかえし)

しゆの う ちに や み は な く よ るも ひ るも か が や く

こ ころの なかを わ - がしゆ よ て らし て く だ さ い

- 1 光の子となるために 従ってゆきます。この世を照らすため 来られた主イエスに。(くりかえし) 主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。心の中をわが主よ、照らしてください。
- 2 主の輝きを見るため 進みゆきます、示された小路を み神のみもとに。
- 3 主の再び来る日を 待ち望みます。信仰を守りぬき、み前に立つひを。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「前奏曲 ト長調 BWV541」 (J.S.バッハ)

司式 喜多村 文子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織
助餐 塩冶 みはる

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

【誕生会のリタニー】

司式者：神さまは、2月生まれの方々に
誕生日を与えてくださいました。
いのちをくださる神さま、
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまは、生まれてから今日まで、
この方々の成長を支えてくださいました。
育ててくださる神さま
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまは、どんなときにもいっしょに
いてくださいます。
守ってくださる神さま
みんな：ありがとうございます。
司式者：神さまからの愛のプレゼント、
2月生まれの方々の誕生日を
みんな喜びお祝いします。

祝福のお祈り 牧師